

大へんなのつぎよう

小ばり小二年はりがえりひと

ぼくの家はのう家です。おしいちゃんを
中心におやさんの弟二人がはたらいていま
す。

ぼくはのぎやうきかいがすきなので、
作ぎやうする日は、いつも田うえかねがかり
につれていってもらっています。田うえのと
きは、水を入れてやるので、ながくつにどろ
がつきます。いねがりをするときは、ホコリ

2
が目に入ります。それでも、何で行きたいの
かと言うと、きかいにのりたいたからです。な
ので、しっかり見学して、きかいのみみつを
もつとしりたいたです。

田うえは、六じやうかせじやうの田うえき
でやっています。六じやうの田うえきは、ど
ういつときにつかうかと言うと、田んぼがや
わらかいときにつかいます。田うえのときは
田んぼが水を入れていないときよりやわらか
いです。本どつはなえはまいてまもないとき

よりずっと大きいのですが、田んぼの水が多
いほど小さく見えます。うえているときの音
が大きいです。ぼくの家は、ひりょうとなえを
一しょにやるので、そのぶんじかんはかかり
ます。ひりょうが多すぎるとたおれるし、少
なすぎるとただたないのので、ちょうどにしな
ければいけません。田うえは、まずかしいお
しごとです。

3
いねかりは、六じょうのコンバインでやり
ます。水は入っていないので、田うえのとき

4
より田んぼはかたいのですが、かりのこしを
かまでからなければならぬし、思ったより
づつかいにかるので、ホコリが目に入ります。
大きい田んぼは、「中われ」と言う方ほうで
します。小さい田んぼは、「トラビットが
り」と言う方ほうでします。

見ていると手つだいたくなるので、ぼくも
たまに手つだっています。
のうぎょうは、大へんおしごとです。